

# 社協だより

福祉たかつき  
第120号

平成25年(2013)  
4月25日

発行 社会福祉法人 高槻市社会福祉協議会 〒569-0065 高槻市城西町4番6号 ☎072(674)7496 072(661)4901 http://www.ta-city-shakyo.com

## 平成25年度事業計画 共生のまちづくりをめざして

### 基本方針

- 深刻な生活課題や社会的孤立の予防など、今日的な福祉課題に向き合い、誰もが安心して暮らせる共生のまちづくりに向けさらに取り組みを深めていきます。
- 地域福祉の実践活動を担う地区福祉委員会の人材育成、組織体制の強化や地域を基盤にして福祉課題の解決につながる相談・支援体制、地域の交流の場づくりの強化、充実に向け取り組んでいきます。
- 福祉基金、善意銀行などの積立基金の活用にあたり、預託者(寄付者)の意向を十分尊重しながら、地域福祉の推進のために慎重かつ有効な基金運営を図ります。

### 重点事業

1. 第2次地域福祉活動計画
  - ① 「地区福祉活動計画」策定に向けた積極的な働きかけ
  - ② 地域福祉を進める人材発掘、育成を目的に各種研修会を開催する
  - ③ 地域の交流の場づくりの拡大と活動の充実
2. 高齢者支えあい事業、生活・介護支援サポート事業対象者の拡大と支援の充実
3. ボランティア・市民活動センターの体制整備
- ④ コミュニティソーシャルワーカーによる地域での相談・支援の充実強化と地区、関係施設・機関とのネットワークを促進し、ケースの課題解決を図る
- ⑤ 日常生活自立支援事業の利用待機者の解消と要支援者への支援強化に努める



地域の交流の場が市内各地に広がっています  
写真は五百住地区の「カフェふれあい」です

4. 「善意銀行払出事業」の活用、地域福祉活動に取り組む事業団体の支援、地域福祉の推進、充実
5. 福祉基金の運用益を活用し、新規に地域と連携した巡回型の「市民福祉講座」を実施する
6. 「社協ガイドブック」 「地区福祉委員会活動の手引き」の作成、イメージキャラクター「タッピー」の活用など社協事業の啓発への取り組みを強化する

## 平成25年度 社会福祉法人 高槻市社会福祉協議会 社会福祉事業会計収入支出予算

項目	予算(単位:千円)
法人運営事業	133,943
共同募金配分金事業	2,214
ボランティア活動推進事業	7,372
小地域ネットワーク活動推進事業	48,130
福祉団体連絡調整事業	774
善意銀行運営事業	2,878
福祉サービス事業	3,507
日常生活自立支援事業	12,984
資金貸付事業	6,062
総合福祉相談事業	739
合計	218,603

## 災害発生に備えて 登録ボランティアセンター

災害ボランティアセンターは、災害発生時に社会福祉協議会を中心に、行政や災害支援団体等が協働し、被災者支援のためのボランティア活動を支援することを目的として設置されます。

市社協では、災害発生時に備え、備品の整備や被災者支援ボランティアの育成・登録、また災害ボランティアセンター設置シミュレーションを行うなど、日頃からの災害に備えた取り組みをしていく予定です。

今年度の取り組みとして、災害ボランティアセンターの登録ボランティアの募集を行います。6月2日に説明会を行いますので興味のある方はボランティア・市民活動センターまでご連絡ください。(連絡先は3面)

募集期間は4月25日～5月24日です。



災害をテーマにしたボランティアリーダー研修会(平成24年度開催)

## 平成25年度 組織構成会員を募集します

社会福祉事業を運営する法人・事業所、社会福祉の活動(NPO法人・ボランティアなど)を行う団体を対象に、社会福祉協議会の組織構成会員として事業の運営・推進にご協力いただける方を募集します。

年会費 一口 5,000円(年額)  
募集期間 4月1日～5月31日  
問い合わせ 総務企画課 電話 674-7496

## 平成25年度共同募金配分申請要領

助成対象 大阪府内の民間社会福祉施設など、社会福祉を目的とする事業を行う法人・団体、またはボランティア活動を行う団体(グループ)。  
申請受付期間 平成25年5月1日～5月20日  
詳しくは大阪府共同募金会ホームページを参照してください。  
問い合わせ 社会福祉法人大阪府共同募金会  
電話 06-6762-8717  
FAX 06-6762-8718  
ホームページ www.akaihane-osaka.or.jp

## 平成24年度 募金結果報告

赤い羽根共同募金  
募金額 12,771,551円

歳末たすけあい運動  
募金額 11,632,812円

東日本大震災義援金(市社協受付分)  
義援金額 3,356,057円

※義援金は平成26年3月31日まで受け付けています。

ご協力ありがとうございました

## 点 心

梅・桃・桜と次々に開花し、ライラックや花木までも、春は駆け足である▼白クレンは、木全体が真っ白になるくらい一斉に開花し、あつという間に散ってしまふ。例年この花を見ると思い出すのは有吉佐和子の小説「恍惚の人」である。昭和47年に書き下ろし小説として発行された。当時の文学的評価は、文学賞の選考対象からも外されるという散々なものであったが、翌年、森繁久弥主演で映画化され、その後も舞台やテレビドラマとして映像化された▼「恍惚の人」という言葉に、まだ30代だった私は大きなショックを受けた。当時の高齢化率がどれほどのものであったかはわからないが、今ほどまちで高齢者を見かけなかったことは確かである▼急速に認知症が進み、食事をしたことを忘れて大声を出したり、便を家中に塗りたくったりする舅を、共働きて仕事と介護の両立に疲れ苦しみなながらも最後まで世話をする主人公の姿は、現在の高齢者介護の実情に比べてどうであろうか▼症状が進んでも美に対する意識は失われていないと彼女が感じる満開の白い花(小説では泰山木)を見上げる映画の最後のシーンには、今も私の脳裏に焼き付いている。(内芝)